

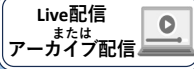
★ GMP業務における生成AI活用の課題と実践的な解決策！

★ 現場で生成AIを定着させるための考え方と具体像！

セミナーNo.603105

GMP業務

における 生成AIの活用法



- 日 時: 2026年3月18日(水) 13:00～16:00 ●聴講料: 1名につき 49,500円(消費税込、資料付)
●会 場: Zoomを使用したLive配信 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき44,000円(税込)]
※アーカイブ配信は3/30～4/9に実施 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]
●講 師: (株)EQUES 代表取締役 岸 尚希 氏

- ◆習得できる知識◆:
- ・AIの基礎理解
 - ・製薬業界におけるAI活用の全体像
 - ・GMP業務における生成AI活用の課題と実践的な解決策
 - ・現場で生成AIを定着させるための考え方と具体像

【講演主旨】 本講演では、AI・機械学習・深層学習の基礎から生成AIと言語モデルの進化を整理し、創薬・CMC・臨床・品質保証など、医薬品ライフサイクル全体に広がる国内外のAI活用事例を紹介しながら、生成AIの普及状況と、技術・倫理両面での課題を整理する。
生成AIの課題を乗り越えるための次世代技術にも触れ、GMPの現場でAIを単なるツールとしてではなく、品質と効率を両立させる実践知として使いこなす人材への進化を目指す。

1. AIの概要

- 1.1 AI、機械学習、深層学習の定義
- 1.2 機械学習の問題設定のイメージ

2. AIの歴史

- 2.1 第一次～第四次人工知能ブーム
- 2.2 生成AIの出現
- 2.3 言語モデルの仕組み

3. 製薬業界におけるAI関連の事業展開

- 3.1 海外事例
- 3.2 国内事例

4. 医薬品業界におけるAI活用関連のニュース

- 4.1 創薬の加速、CMCプロセスの短縮、研究者の生産性向上
- 4.2 臨床開発業務におけるAIエージェント活用

5. 生成AI活用の状況

- 5.1 日本国内における生成AIの利用状況
- 5.2 米国における生成AIの利用状況

6. AI活用のリスク

- 6.1 AI活用の技術的課題
- 6.2 AI活用の倫理的課題

7. AI活用の課題を乗り越えるための技術的な解決策

- 7.1 RAG (Retrieval-Augmented Generation : 検索拡張生成)
- 7.2 MCP (Model Context Protocol) と A2A (Agent-to-Agent Protocol)

8. AI活用の課題を乗り越えるためのマインドセット

- 8.1 AI活用と人の役割
- 8.2 スモールスタート

9. AI活用の事例

- 9.1 品質マネジメント×AI
- 9.2 製造工程管理×AI
- 9.3 出荷管理×AI

10. QAIの紹介

- 10.1 製薬品質保証の文書業務効率化SaaS
- 10.2 変更管理業務等での文書作成補助
- 10.3 医薬品に関する機密情報を用いた製薬特化LLM

11. 生成AI活用の実現に向けて

- 11.1 伴走型開発支援

「GMP業務生成AI」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

☐ Live配信 (No.603105)

開催日: 3/18

☐ アーカイブ配信 (No.603156)

配信期間: 3/30～4/9

・申込書に必要事項をご記入の上、FAX (03-5436-7745) にてお申込みください。

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯番号		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・SMS(ショートメール)・e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります